

第3学年2組英語科学習指導案

日時 令和3年9月24日(金) 5校時

指導者 JTE 一瀬 大樹

ALT Glen James Gerth III

場所 3年2組教室

1 単元名

Unit 4 AI Technology and Language (Here We Go! English Course 3)

2 単元について

○教材観

本単元は AI テクノロジーの発達について取り上げられている。本単元では携帯翻訳機に焦点が置かれており、携帯翻訳機の活用により外国人とのコミュニケーションがより円滑になるという利点や、AI 機器の利用によって問われる外国語の学習やコミュニケーションの意義などが本文中で議論されている。

現代の中学生は、インターネットやパソコン、様々な電子機器に囲まれ育ってきた、いわゆるデジタルネイティブであり、電子機器や AI テクノロジーといった話題は生徒にとって身近な題材である。しかし同時に、AI に関する話題のみにならないような配慮をしたい。なぜなら、AI が「人工知能」であり、今日私たちが使っている様々な機器に使われているということは知っていても、より専門的な部分になると大人でもわからないことだと考える。また生徒には、AI や科学技術の話題について意見を交換できる能力ではなく、AI を含めた日常の様々な話題について、自らの考えを整理し相手に伝えるための能力を身につけてほしいと考える。生徒との関連性を高めるためにも、また生徒の選択肢を広げるためにも、AI に固執しない身近な話題にまで選択肢を広げることで、本単元の目標に迫りたいと考える。また、新出の言語材料(関係代名詞)を使用する必然性を考えても、AI だけにこだわるのではなく、私たちの生活に身近な話題まで広げる方が適切であると考え。

本単元では、言語材料として関係代名詞 which, who, that(主格的用法)が取り上げられている。関係代名詞を学習する際、その規則性について理解することはもちろん大切だが、関係代名詞を実際にどのような場面で使うことができるかという点をより重視しながら、単元ゴールの「書く」活動において活用できるようにしていきたい。

○校内研および山梨県英語教育改善プラン推進事業の研究に関わって

本校は山梨県英語教育改善プラン推進事業の研究指定校として、小・中・高等学校を通じて、グローバル社会に生きる児童生徒に求められる英語による発信力を向上させるために、実際の目的・場面・状況に応じた英語を活用する課題(パフォーマンス課題)を設定し、指導・評価するモデルを構築する研究を重ねている。本校は特に、「話すこと(やり取り)」を「書く」力に繋げる指導に主眼を置いている。単元ゴールの「書く」活動につながるスモールステップとしての「話すこと(やり取り)」を、どのように単元計画や授業の中に組み込んでいけるかを研究の柱としている。

前述のとおり本単元は AI テクノロジーの発達について様々な意見を議論するという内容になっている。科学技術の発達とグローバル化の進む現代社会において、議論の場は対面だけでなくオンライン上でも容易に行われる時代である。そのため本単元のライティング活動は、1人1台端末と Microsoft Teams の Word 共同編集と、Benesse の提供するミライシード内のプログラム「ムーブノート」上にそれぞれタイ

ピングをする形式をとる。手書きだけでなくタイピングを通して他者とやり取りする経験を生徒にさせることで、ICTの積極的な活用も考えていきたい

単元中のライティング活動では Microsoft Teams の Word 共同編集を用いる。お互いの意見を読み合い、フィードバックをシームレスに行わせることができること、またスローラーや英語を苦手としている生徒が、クラスメイトの文章を手本とすることができるという利点がある。一方、Benesse の提供するミライシード内のプログラム「ムーブノート」では、自分が文章を投稿するまで他者の文章を閲覧することができない。単元末のパフォーマンス課題では、生徒が培ってきた自身のライティング力を発揮することが求められるため、このプログラムのほうが適している。投稿後は全生徒の主張を閲覧し、いいねボタンやコメントを残すことで、互いにポジティブなフィードバックを与えあうことができる。

本校校内研においては、「主体的に課題に向き合い、自ら考え、学ぶ生徒の育成 ～学習指導と評価の工夫を通して～」というテーマにもとづき、「論理的に思考し、表現する力」の育成を図りながら、学力全体の底上げを目指している。英語を論理的に「書く」にあたり、今まで学習してきた文章の構造についての指導（主張→根拠→結論という流れで書くこと）や、自らの主張を読み手にわかりやすく伝えるための接続詞・接続副詞の使用に関する指導を、本単元でも継続して行う。また、単元内の「書く」活動において、作文の目的・場面・状況に応じて、書く内容を思考・判断し表現できるように、単元中の3度の大きなライティング活動において異なる目的・場面・状況を設定した。

○生徒観

男子15名、女子16名、計31名のクラスである。真面目な生徒が多く、問題演習や作文などの個人活動に黙々と取り組む様子が見られる。英単語や英文法の知識とその理解としては高い生徒が多く、言語に関する知識・技能を問う問題などの正解率は高い。一方、英語の授業における学級全体の雰囲気としては非常におとなしく、全体指導の際に自発的に発言したり意見を述べたりする生徒はごくわずかである。言語に関する特徴やきまりについて理解している生徒が多くいる一方で、それらを用いて自らの考えや意見を相手に伝えることには躊躇してしまう傾向にある。そこには、間違えることを恐れる生徒の心理と、おとなしいクラスの雰囲気にもなれているという心理の2点が存在していると考えられる。本単元では自らの考えを他者と共有する機会が多いため、1学期の活動同様、消極的な生徒の活動が予想される。しかし、生徒が興味を持つ課題を設定することで、生徒が既習事項を工夫しながら英語で自分の考えを言ったり書いたりする機会を与えるとともに、教師やALTが生徒同士の活動を観察し生徒の発言や積極的姿勢にポジティブなフィードバックを与え、生徒が自信をもってやり取りできるように指導したい。

3 領域別の学年ごとの目標および評価規準

「書くこと」における第3学年の目標および評価規準

(1) 目標

日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ち等を整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書くことができる。

(2) 評価規準

知識・理解	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・学習した言語材料の特徴やきまりを理解している。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況に応じて、日常的な	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、読み手に配慮しな

・実際のコミュニケーションにおいて、日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ち等を整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書く技能を身につけている。	話題について、事実や自分の考え、気持ち等を整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書いている。	がら、主体的に外国語を用いてやり取りをしようとしている。
---	--	------------------------------

4 単元の目標と評価規準

(1) 単元の目標

来年度から長坂中に導入されることになったロボットについて、どのようなロボットが導入されるべきかを述べた意見書を校長先生に提出するために、学校の状況や日常生活の様子をもとに自分の考えや気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書くことができる。

(2) 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
知識・・・長坂中にどのようなロボットが導入されるべきかを述べた意見書を書くために必要な単語や文法などの特徴やきまりを理解している。 技能・・・長坂中にどのようなロボットが導入されるべきかを述べた意見書を書くために必要な単語や文法などを用いて書く技能を身につけている。	長坂中にどのようなロボットが導入されるべきかを述べた意見書を書くために、学校の状況や日常生活の様子をもとに自分の考えや気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書いている。	長坂中にどのようなロボットが導入されるべきかを述べた意見書を書くために、学校の状況や日常生活の様子をもとに自分の考えや気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書こうとしている。

5 単元の指導と評価の計画（全12時間）

時間	ねらい (■)・言語活動等 (○)	評価			
		知	思	態	◎評価規準〈評価方法〉
1	■ 単元の目標を理解する。 ■ 教師の発話や音声を聞き、教科書本文のおおまかな内容を理解することができる。 ○帯活動：ビンゴ、Small Talk、リスニング教材 ○本単元の最終活動について理解する。 ○オーラルイントロダクションを聞き、教科書本文の概要を捉える。 ○本文を聞き、本文の絵を番号順に並び替えることで、本文の流れを捉える。				※本時では、目標に向けて指導は行うが、記録に残す評価は行わない。

2	<p>■教科書本文の音声を聞き、本文の内容に関する質問の答えを探し出すことができる。</p> <p>■教科書本文の音声を聞き、教科書本文を正しい順番に並び替えることができる。</p> <p>○帯活動：ビンゴ、Small Talk、リーディング教材</p> <p>○単元の新出単語について知る。</p> <p>○本文を聞き、内容を復習する。</p> <p>○本文を再度聞き、内容に関する質問に答える。</p> <p>○本文を再度聞き、教科書本文を正しい順番に並び替える。</p>			<p>※本時では、目標に向けて指導は行うが、記録に残す評価は行わない。</p>
3	<p>■教科書本文を正しい発音で読むことができる。</p> <p>○帯活動：ビンゴ、Small Talk、リーディング教材</p> <p>○単元の新出単語を復習する。</p> <p>○本文を聞き、内容を復習する。</p> <p>○ALT の後に続き本文を音読する。</p> <p>○穴あきの本文を用いて音読をする。</p>			<p>※本時では、目標に向けて指導は行うが、記録に残す評価は行わない。</p>
4	<p>■教科書本文のリテリングを行い、本文の内容をわかりやすい英語で相手に伝えることができる。</p> <p>○帯活動：ビンゴ、Small Talk、リスニング教材</p> <p>○単元の新出単語を復習する。</p> <p>○本文を聞き、内容を復習する。</p> <p>○教科書 p. 115 の絵を用いて、となりの生徒に対しリテリングを行う。</p>			<p>※本時では、目標に向けて指導は行うが、記録に残す評価は行わない。</p>
5	<p>■関係代名詞 which を用いて、自分がほしいロボットを相手に伝えることができる。</p> <p>○帯活動：ビンゴ、Small Talk</p> <p>○単元の新出単語を復習する。</p> <p>○教科書 p. 53 のリスニング活動を行う。</p> <p>○関係代名詞 which を用いて、自分がほしいロボットを紹介する。</p> <p>○会話活動で自分が述べた一文を文章化する。</p>			<p>※本時では、目標に向けて指導は行うが、記録に残す評価は行わない。</p>
6	<p>■関係代名詞 who を用いて、自分の友達自慢を相手に伝えることができる。</p> <p>○帯活動：ビンゴ、Small Talk</p> <p>○単元の新出単語を復習する。</p> <p>○教科書 p. 55 のリスニング活動を行う。</p> <p>○関係代名詞 who を用いて、自分の友達自慢を相手に伝える。</p> <p>○会話活動で自分が述べた一文を文章化する。</p>			<p>※本時では、目標に向けて指導は行うが、記録に残す評価は行わない。</p>

7 本 時	<p>■担任に似合う女性をアドバイスするために自分の意見を整理し書くことができる。</p> <p>○帯活動：Small Talk</p> <p>○会話活動</p> <p>「Which girl is good for Mr. Ichinose?」</p> <p>○会話活動で自分が述べた意見を文章化する。</p>				<p>※本時では、目標に向けて指導は行うが、記録に残す評価は行わない。</p>
8	<p>■関係代名詞 that を用いて、クイズを出題することができる。</p> <p>○帯活動：ビンゴ、Small Talk</p> <p>○単元の新出単語を復習する。</p> <p>○教科書 p. 57 のリスニング活動を行う。</p> <p>○関係代名詞 that を用いてクイズを作成し、他の生徒とクイズを出し合う。</p> <p>○会話活動で自分が作成したクイズを文章化する。</p>				<p>※本時では、目標に向けて指導は行うが、記録に残す評価は行わない。</p>
9	<p>■ジャパネットながさか社員として ALT に商品を売り込むために自分の意見を整理し書くことができる。</p> <p>○帯活動：Small Talk</p> <p>○会話活動</p> <p>「What does Glen sensei want?」</p> <p>○会話活動を踏まえ、おすすめの商品紹介文を作文する。</p>				<p>※本時では、目標に向けて指導は行うが、記録に残す評価は行わない。</p>
10	<p>■長坂中に導入されるロボットに関する意見文を、自分の意見を整理し書くことができる。</p> <p>○帯活動：ビンゴ、Small Talk</p> <p>○パフォーマンス課題</p> <p>「What robot should we have in Nagasaka Junior High School?」</p>	○	○	○	<p>◎長坂中にどのようなロボットが導入されるべきかを述べた意見書を書くために、学校や状況や生徒の実態をもとに自分の考えや気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書いている。〈行動観察、振り返りシート、ライティングのデータ〉</p>

◎パフォーマンステストの内容

今年度、長坂中学校にも1人1台パソコンが導入され、授業で用いられている。そして来年度、どうやら何らかのロボットが長坂中学校に導入されるとのこと。校長先生は今の長坂中学校にどんなロボットを導入すべきかアイデアを募っているらしい。長坂中学校の生徒のひとりとして、どんなロボットが導入されればよいかを考え、意見を文章にまとめて校長先生に提出しよう。

以下の質問に対し、あなたの考えを英文にまとめて書きなさい：

What robot should we have in Nagasaka Junior High School?

◎パフォーマンステストの形式

○使用教材：1人1台端末、Benesse「ミライシード」上のプログラム「ムーブノート」

◎パフォーマンステストにおけるルーブリック（評価基準）

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
A	知識・・・長坂中にどのようなロボットが導入されるべきかを述べた意見書を書くために必要な単語や文法などの特徴やきをまりを正確に理解している。 技能・・・長坂中にどのようなロボットが導入されるべきかを述べた意見書を書くために必要な単語や文法などを用いて正確に書く技能を身につけている。	長坂中にどのようなロボットが導入されるべきかを述べた意見書を書くために、学校の状況や日常生活の様子をもとに自分の考えや気持ちなどを整理し、説得力のある形で文章を書いている。	長坂中にどのようなロボットが導入されるべきかを述べた意見書を書くために、学校の状況や日常生活の様子をもとに自分の考えや気持ちなどを整理し、説得力のある形で文章を書こうとしている。
B	知識・・・長坂中にどのようなロボットが導入されるべきかを述べた意見書を書くために必要な単語や文法などの特徴やきをまりを理解している。 技能・・・長坂中にどのようなロボットが導入されるべきかを述べた意見書を書くために必要な単語や文法などを用いて書く技能を身につけている。	長坂中にどのようなロボットが導入されるべきかを述べた意見書を書くために、学校の状況や日常生活の様子をもとに自分の考えや気持ちなどを整理し、まとまりのある文章を書いている。	長坂中にどのようなロボットが導入されるべきかを述べた意見書を書くために、学校の状況や日常生活の様子をもとに自分の考えや気持ちなどを整理し、まとまりのある文章を書こうとしている。
C	Bを満たしていない。	Bを満たしていない。	Bを満たしていない。

◎パフォーマンステストにおける具体的なゴール(例)

We should have a robot which cleans school. Our school is really big, so we need help to clean. If we have a robot which cleans school, we can make our school clean.

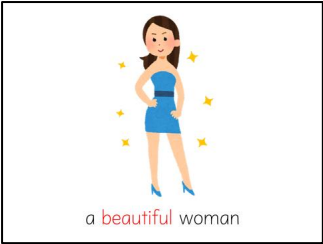

5 本時について


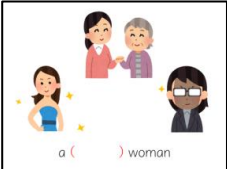


(1) 本時の目標

- ・一瀬先生(担任)に似合う女性をアドバイスするために、友達とやりとりしたことをもとに自分の意見を整理し書くことができる。

(2) 本時の展開

学習過程	生徒の活動	教師の支援・活動	○評価 ●指導上の留意点
あいさつ (1分)	Good morning, Mr. Ichonose and Mr. Glen.	Good morning, everyone. How are you? (ask each other) How's the weather? What day is it? What's the date? What time is it?	
帯活動 Small Talk (5分)	T1 と ALT の手本を見て会話のテーマや表現の方法などを理解する。 やり取りの例 A: Which character do you like? B: I like Tina. A: Why? B: Because she is very kind.	T1:Small Talk! T1:「Which character do you like better: Tina or Eri?」 T1, ALT: デモンストレーション Talk to your friends! GO! Kaiten-zushi! Go!(会話の相手を変える。)	
本時の目標の確認 (1分)		T1: I'm 31 years old. People say I should have a girlfriend and get married as soon as possible. But I don't know what type of woman I should have as a wife. So! I want to hear your advice.	

	<p>本時の目標を知る。</p>	<p>T1:Let's check today's goal!</p> <p>本時の目標「一瀬先生に似合う女性をアドバイスするために、友達とやりとりしたことをもとに自分の意見を整理し書くことができる。」を黒板に張り付ける。</p> <p>T1: ただ「こんな女性が良い」だと説得力がない。理由などを含め、自分の主張をわかりやすく、説得力のある形で展開することが大事。そのためにまずはクラスの人と意見を交わし、アイデアを集めよう。</p>	
<p>展開① 例文の提示 (+関係代名詞 which についての 復習) (3分)</p>		<p>T1: For example! No. 1! スライドを表示する。 ALT: You should have a beautiful woman. T1: Really!? Why? ALT: Because you always feel good with beautiful woman.</p> <p>T1: Example No. 2! スライドを表示する。 ALT: You should have a woman who can cook well. T1: Why? ALT: Because you don't cook, right? T1: Right. ALT: You should have good food.</p>	<p>板書計画①</p>  <p>a beautiful woman</p> <p>板書計画②</p>  <p>a woman who can cook well</p>

		<p>T1: Example No. 3! スライドを表示する。 ALT: You should have a woman like Naomi Watanabe. T1: What!? Why? ALT: Because she is very funny. It must be really fun with her. And you like dancing and singing, right? T1: Yeah, right.</p>	<p>板書計画③</p> 
<p>展開② (1)説明・アイデアのメモをとる (3分)</p> <p>(2)会話活動1 (5分)</p>	<p>メモを受け取り、自分の考えを簡単にメモさせる。</p> <p>会話例 A: He should have woman who can cook. B: Why? A: He eats conveni-bento every day.</p>	<p>T1: Now, let's share your opinion!</p> <p>T1: I'll give you a memo. Please write down your ideas and reasons.</p> <p>補助資料①②③を黒板に張りつける。</p> <p>You have 3 minutes.</p> <p>T1: Are you ready? T1: Stand up! Talk to your friend next to you. 3, 2, 1, go!</p> <p>Kaiten-zushi! Go!(会話の相手を変える。)</p>	<p>教材：会話用メモ①</p> <p>① </p> <p>② </p> <p>③ </p> <p>●T1, ALT は机間巡視を行う。模範的なやり取りを抽出する。必要に応じてやり取りの補助を行う。</p>

<p>(3) 中間指導 (5分)</p>	<p>「if」</p> <p>「can」</p> <p>「will」</p>	<p>T1: OK, Please stop talking.</p> <p>T1:自分の主張をより強くするためにどうしたらいいか考えよう。</p> <p>(中間指導の例1)</p> <p>T1: 今回は「もしも」のお話だ。「もし～なら」と英語で言いたい時は…?</p> <p>T1: That's right. 使ってみるのもいいかもね。</p> <p>(中間指導の例2)</p> <p>T1:今回は、「もしも」の話なので、いろいろな可能性を示すと説得力が増すよね。 つまり「～できる」。英語で? もしくは「～だろう」。英語で?</p>	<p>●その他、生徒の会話の様子を踏まえ、適切な指導を入れる(生徒が言いたくても言えなかったことや、担任の情報を踏まえた説得力のある良いやり取りの例などを拾う)。</p>
<p>(4) 会話活動2 (5分)</p>	<p>会話例</p> <p>A: He should have woman who can sing well.</p> <p>B: Why?</p> <p>A: Because he likes singing(ここまで B 評価相当). If he goes to karaoke together, he can enjoy singing. (ここまでで A 評価相当)</p>	<p>T1: Kaiten-zushi! (会話の相手を変える。)</p> <p>Same question.</p> <p>Round 2!</p> <p>3, 2, 1, go!</p> <p>Kaiten-zushi! (会話の相手を変える。)</p> <p>Round 3! Go!</p>	<p>●T1, ALT は机間巡視を行う。模範的なやり取りを抽出する。必要に応じてやり取りの補助を行う。</p>
<p>展開③ 発言内容の</p>		<p>T1: Go back to your seat!</p> <p>Good job, everyone!</p>	

<p>文章化 (1) 説明 (2分)</p>	<p>長中にどんなロボットが必要かを書く。</p> <p>結論</p>	<p>Now, I want you to write your opinion on the word document.</p> <p>T1: Activate Microsoft Teams!</p> <p>T1: I posted today's word document. Please write down your opinion!</p> <p>T1: この単元の最終目標は？</p> <p>T1: That's right. しかも自分の主張をわかりやすく、説得力ある形で書けるようになることが目標だよ。</p> <p>T1: 以前にも伝えた通り、最初を書くべきことは？</p> <p>T1: Yes. 質問に対するストレートな答えをまずは書くこと。そこから具体例や、「もしも」といった話を展開するとわかりやすい文章になるね。</p>	
<p>(2)記入 (15分)</p>	<p>①会話活動で展開した自分の意見を記入する。 ※他の生徒の文章を見て、まねをして書いてもいい。</p> <p>②記入終了後、他人の文章を読み、感想や質問などを記入する。 ※他の生徒の文章を読んで、自分の作文を修正しても良い。</p>	<p>T1: Are you ready? Let's start!</p> <p>T1: If you finish, read other students' writing and write down some comments.</p>	<p>●T1, ALT は生徒の作文を読み、模範的な作文を紹介する。必要に応じて生徒に個別の指導を行う。</p>
<p>ふり返り (5分)</p>	<p>本時に学んだことやできたことを振り返りシートに記入させる。</p>	<p>T1: Write down today's review!</p>	
<p>あいさつ</p>		<p>T1: That's all for today.</p>	

	(日直)Let's finish English class! (全 員) See you next time! Goodbye!	Leader, please! T1, ALT: See you next time! Goodbye!	
--	---	--	--

(3) 評価規準


○担任に似合う女性をアドバイスするために、友達とやり取りしたことをもとに自分の意見を書いている。
「書くことの思考・判断・表現」

(※) 評価及び指導の例


「十分満足できる」状況 (a)	担任に似合う女性をアドバイスするために、友達とやり取りしたことをもとに自分の意見を整理し、説得力のある形で書いている。
「おおむね満足できる」状況 (b)	担任に似合う女性をアドバイスするために、友達とやり取りしたことをもとに自分の意見を整理し、書いている。
「努力を要する」状況 (c) と評価した生徒に対する指導の手立て	ライティングに対する添削などの個別支援を通して、「おおむね満足できる」状況 (b) を達成できるようにする。

6 板書計画

板書計画①

<p>Friday September 24th</p>	<p>Unit 6&7: ALT に対する指導の考えを伝えるために、ALT の人柄や好み、生活スタイルなどの情報をもとに、自分の考えや気持ちを整理し、簡単な図や文を書いてまとめる。自分の考えや気持ちを伝えることができる。</p>	<p>本時の目標「英語で中学校に導入を願っている先輩のアドバイスを受け、自分の将来について夢や希望について自分の意見を整理し書くことができる。」</p>	 <p>a beautiful woman</p>
---	--	--	--

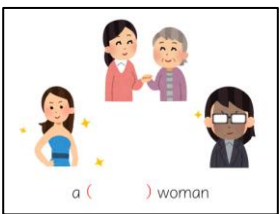

板書計画②

<p>Friday</p> <p>September 24th</p>	<p>Unit Goal: A2Tにおよぶための準備を続けること。A2C、A2Tの理解が深まり、リスニングなどの理解をもとにした自分の考えや気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとめること。ある文章を書くことができる。</p>	<p>本時の目標「高校中学校に進入を期している女性や子ども達から、自分が高校中に必要だと思うポイントについて自分の意見を整理し書くことができる。</p>	 <p>a woman who can cook well</p>
--	--	--	--

板書計画③

<p>Friday</p> <p>September 24th</p>	<p>Unit Goal: A2Tにおよぶための準備を続けること。A2C、A2Tの理解が深まり、リスニングなどの理解をもとにした自分の考えや気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとめること。ある文章を書くことができる。</p>	<p>本時の目標「高校中学校に進入を期している女性や子ども達から、自分が高校中に必要だと思うポイントについて自分の意見を整理し書くことができる。</p>	<p>非公開</p> <p>非公開</p> <p>非公開</p> <p>a woman like Naomi Watanabe</p>
--	--	--	---

板書計画④

<p>Friday</p> <p>September 24th</p>	<p>Unit Goal: A2Tにおよぶための準備を続けること。A2C、A2Tの理解が深まり、リスニングなどの理解をもとにした自分の考えや気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとめること。ある文章を書くことができる。</p>	<p>本時の目標「高校中学校に進入を期している女性や子ども達から、自分が高校中に必要だと思うポイントについて自分の意見を整理し書くことができる。</p>	 <p>a () woman</p>  <p>a woman who ()</p> <p>非公開</p> <p>非公開</p>
--	--	--	--

7 使用教材

教材：会話用メモ①

会話用メモ

Grade ___ Class ___ No. _____ Name _____

○自分の考えを簡単にまとめて、会話の際にヒントとして利用しよう。

一瀬先生におすすめの女性

その理由

友達の意見メモ